

1 自己評価結果の総括

(1) 1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

区将来ビジョンに基づく区の目標の実現を図るため、次の事項を中心に取組みを進めた。

◆ みんなの『思い』が区政に反映されているまち

「あなたの声をつなげ隊」を中心に、区民の意見を積極的に聴取、集約した。また、区独自のPD“L”CAサイクル（“L”＝Listen）を導入し、区民の意見を今後の施策展開や予算に反映させることができた。

【事業名】「シティ・プロモーション事業」「こどもの防犯に向けたまちづくり事業」 など

◆ 未来を担う人材が育成されているまち～日本一の文教『都市』の実現～

- ・ 子育て世帯が多く、教育意識も高いといった地域特性に着目し、他区にない独自の事業を展開できた。

【事業名】「社会の仕組みを学ぶ体験型プログラム『Kids City!天王寺』」→27年度全市事業へ

「英語による即興型ディベートスクール事業」「インターンシップ事業」（以上、人材育成）

「子育てスタート応援事業」「子育て情報アプリ『ぎゅっと！』」の配信（子育て支援）

- ・ 小宮山悟氏を指導者に迎え、部活動での指導を通じ、夢とチャレンジ精神を育む「レジェンド・イン・ハイスクール事業」に取り組む。

◆ 『命を守る政策』がしっかりと進められているまち

- ・ 上町断層帯に近く、防災意識の高い地域であることから、区独自の施策に取り組んできた。

【事業名】「出前講座」等による積極的な啓発、「家具固定グッズの取付け支援事業」、防災訓練「遊びながら防災を学ぼう～あそぼうさい in 四天王寺」の開催

- ・ 安全なまちづくりをめざし、増設を望む“区民の声”を踏まえ、「こどもの防犯に向けたまちづくり事業」を拡充し、全ての小学校区で防犯カメラの設置に取り組む。

◆ 歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち

- ・ 大坂の陣400年にあわせ、シティ・プロモーションの機運を醸成するため、「真田幸村博」を開催した。
- ・ NHK大河ドラマ「真田丸」の放映を契機に多くの来訪者を迎えることから、同イベントの開催に加え、真田丸顕彰碑、案内板等インフラの整備を行う。

(2) 解決すべき課題と今後の改善方向

- ・ 区民の意見の施策等への反映状況の“見える化”が課題であるため、広報紙やホームページ等を活用し、分かりやすい情報発信に努める。“区民の声”を反映できない場合、その理由を明確にして説明責任を果たす。
- ・ 人材育成・子育て支援に関する取組みを中心に、利用者数、参加者数が限られ、効果が一部にとどまる事業があることが課題であり、今後、利用促進や成果の共有化に向けた取組みを行っていく必要がある。
- ・ 防災意識は高まっているものの、「家具の固定率」といったアウトカム(重点目標)が目標を大きく下回っている状況にある。啓発等を継続することに加え、有効な取組みの検討、再構築が必要と認識している。
- ・ 今後は地域主体のシティ・プロモーションが展開できるよう、地域人材が活動しやすい基盤づくりに取り組むとともに、地域人材との連携を密にし、情報発信を強化していく。
- ・ 新たな財源の確保が課題であり、講堂等の貸出しや広告事業など歳入確保に向けた取組みを強化する。とりわけ、旧区庁舎当時を再現した講堂は、結婚式やイベント開催も期待でき有効活用策を検討する。